

岐阜県 白川村 平成28年 1月28日

ふるさと名物応援宣言

白川村が応援するふるさと名物

「霊峰白山のふもと、美しくきびしい自然と、香り高い文化
に恵まれた環境で育まれる『ヒト・モノ・コト』応援宣言」



ふるさと名物
Furusato Meibutsu



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

地域プロフィール

* 白川村は岐阜県の北西部に位置する急峻な山々に囲まれた、人口1,700人ほどの農山村です。村の面積356.64km²（岐阜県の約3%）のうち、95.7%を山林が占めており、その豊かな森林を活かした白山国立公園、天生県立自然公園などがあります。また、飛騨地域の中でも、村は山ひだが険しい地域となっており、その急斜面地の間を縫うように富山湾へと注ぐ庄川が流れ、川沿いのわずかな平地に集落が形成されています。また、白川村は日本有数の豪雪地帯であり、例年2メートル以上の積雪があります。夏は涼しく過ごしやすい反面、冬は一面の雪に覆われるというのが、気候の特徴であり、この気候をうまく利用して生活してきたのが、わたしたちの祖先です。





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

地域プロフィール

- * 白川村といえば、「白川郷合掌造り集落」です。平成7年12月にユネスコの世界文化遺産に登録され、平成27年12月で20年目を迎えました。「合掌造り」とは木材を梁（はり）の上に手の平を合わせたように山型に組み合わせて建築された、勾配の急な茅葺きの屋根を特徴とする住居で、叉首構造の切妻屋根とした茅葺屋根です。茅葺き民家は他の地方にも見られますが、白川村では「切妻合掌造り」といわれ、積雪が多く雪質が重いという白川の自然条件に適合した構造に造られています。村の産業の中心は観光産業です。世界遺産に登録されて以降、観光客数は大幅に増え、また北陸新幹線の開通など交通インフラの整備により、更なる観光客数の増加が見込まれています。



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

地域資源の内容 「白川郷の米」

白川郷
の水

田にそそがれる水は、里や豊かな木々のある廻りの山々に降った雨、雪解け水である。廻りの自然と田を遮るものはなく、綺麗に透き通った里の大地を潤す命の水である。また、霊峰白山を麓とする水源の支流に入れば、`幻`とも言われる天然のイワナが大自然の中で生息するほど清涼な水です。

寒暖の
差

白川郷は昼夜の寒暖差が大きい為、稲作に最も大切な7月～9月では太陽の光を十分に受けた稲が、涼しい夜においしさと栄養をじっくり稲に蓄えます。



だから うまい「白川郷の米」



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

『ふるさと名物の内容』

白川郷の米を使った加工商品

- * 白川村が宣言するふるさと名物は、白川郷の米を使った加工商品です。



- * ベーめんとは、お米から作る麺のことです。白川郷ベーめんは白川村産コシヒカリを100%使用しており、なんとと言っても小麦アレルギーの方も安心して食べられます。ベーメンだけの独自製法により小麦や、小麦グルテンは一切使用しておりません。そのためうどんとは違った、もっちりとしのある独特の食感と、米の旨みを引き出すことに成功しました。また、小麦を使用していないことにより3大アレルギーの1つである小麦アレルギーに対応していますので、アレルギーのある方にも安心して召し上がっていただけます。



- * 白川村産コシヒカリのみを使って作られた米粉です。村内で作られる団子などにも使用されていますが、米粉で作るパンや和菓子などにもご利用いただけます。



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

『白川村独自の支援策』

～白川村産品認定制度～

- * 白川村では、村の地域資源を活用し製造者及び生産者の思いあふれる創意工夫された商品や昔ながらの伝統的な商品を白川郷産品として認定することで、村外産商品との差別化と村のイメージ向上を図ることを目的に白川郷産品認定を実施しています。
- * 村民が生産する“ホンモノ”の白川村産商品をお客様に提供することで、世界遺産集落の景観だけでなく、村民の暮らし、村の文化等にふれる機会を創出します。



白川郷産品認定
マーク